

ダンス教育の可能性

— 体育の授業からグローバルリーダーへ —

保健体育科 丹内 周子

本校では入学年次の体育の授業の中に、武道（剣道、柔道）ダンスの選択がある。平成20年、学習指導要領の改訂により中学校1、2年生において男女ともにダンス必修になったことによって高校での授業も年々変化してきた。本稿では、私が赴任してきた平成27年から今年度の選択ダンスの授業の変化について振り返り、ダンス教育の可能性や今後の課題について示していきたい。

キーワード：ダンス教育 男女共習化 現代的なリズムのダンス グローバルリーダー

1. はじめに

自分自身、高校では体育でダンスの授業を受けたことがない。選択であったのかもしれないが、記憶にはない。大学に入学し、武道との選択でダンスの授業はあったものの、指示されたことをする、というものでしかなく、頭も体も硬い私はダンスが苦手以外の何物でもなかった。舞踊部が演技の指導を行い、1年次にダンス選択者全員が市のホールで行われるダンス発表会に出場すれば単位がもらえるというだけのことだった。

それが、教員となり授業で指導する側になったことで事態は一変した。まずはスポーツジムでエアロビクスやアイドルダンスのレッスンに参加し、恥ずかしいという気持ちから脱却することに取り組んだ。また、石川県の女性の体育の先生方の集まりで女子体育研究会という会があり、その場でフォークダンスや日本舞踊を教えてもらったり、各自の学校での取り組みなどの情報交換から、手探りでダンスの授業を実施していた。

授業をしていくうちに、あることに気が付いた。私自身、ダンスの特性や楽しさを感じる余裕もなく授業をしていたのに対して、生徒たちは案外笑顔で取り組み、更には普段の体育の授業では積極的に動

くわけではない、あまり目立たないような生徒たちが一生懸命に動きを練習し、隣の生徒に教えてもらったりして活動が成り立っていた。

こうして私は、実際の授業の生徒たちの活動から、ダンスは運動の効果はもちろん、コミュニケーションをとることによって多くの要素を兼ね備えた活動に繋がると感じるようになった。

2. ダンスの授業において

(1) 学習指導要領より

ダンスは、創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスで構成され、イメージを据えた表現や交流を通して仲間とのコミュニケーションを豊かにすることを重視する運動である。高校入学年次は中学校での3年間の学習を踏まえて、感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、踊りの特徴と表現の仕方や運動観察の方法などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすることができるようにする。その際、表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。また、ダンスの

学習に自主的に取り組み、互いに助け合い教え合うことや一人ひとりの違いに応じた表現や役割を大切にすることなどに意欲を持ち、健康・安全を確保することができるようにする。

(2) 本校の授業形態について

私が赴任した平成27年度は1年次に体育2単位とは別に通年で1時間が武道・ダンスの選択授業に割り当てられていた。ダンスの授業では、リズム体操から始まり、エアロビクスやフォークダンス、簡単なヒップホップなど様々なダンスを経験した後、毎年3月に石川県教育会館でおこなわれる石川県高等学校ダンス発表会に参加するために教育実習が終わった10月頃から作品作りをするという流れがあった。

しかし、県の発表会に出場するメンバーが本校以外は全てダンス部の生徒であることからレベルの違いを感じたこと、台湾現地学習の日程により直前の練習ができないことから、平成28年度以降、県の発表会の参加を見送ることにし、その代わりに校内発表会を行うことにした。

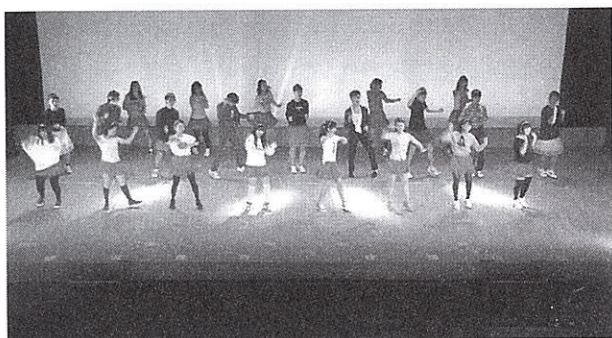


写真1 平成27年度石川県高等学校ダンス発表会



写真2 平成28年度校内発表会

さらに、カリキュラムの改訂により平成29年度から2単位の体育の授業の中に武道ダンスの選択授業を組み込むことになった。8時間の授業での作品作りには限りがあるため、校内発表会ではなく、クラス別の授業の中で発表し、動画を撮ってダンス選択者全員で発表の様子を見て評価するという形態に変更した。

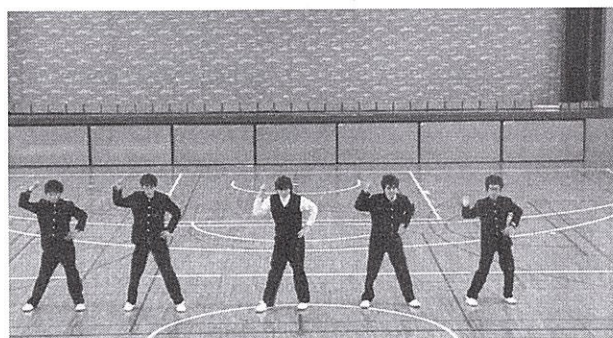


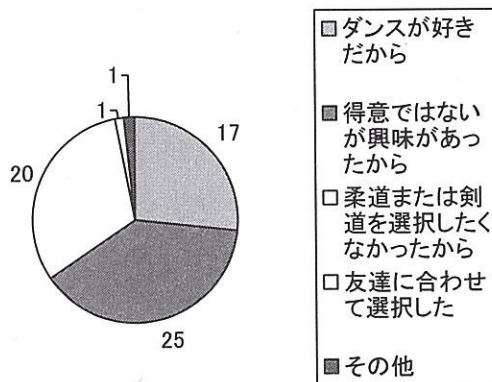
写真3 平成29年度クラス別発表会（撮影会）

	H27(69)	H28(70)	H29(71)	H30(72)
男子	30	18	28	22
女子	49	52	31	46
合計	79	70	59	68

表1 ダンス選択者の推移（ ）は回生

(3) 今年度の授業をするにあたって

・ダンスを選んだ理由（生徒アンケートより）



グラフから分かるように、ダンスの授業を率先して選んだのではなく剣道・柔道を避けての消去法で選んだ生徒が約3分の1いることが分かる。このデータは今年度に限ったものではなく、以前から概ね変化がない。特に男子の武道離れが進んでいる。よ

って、男子も参加しやすく、且つ興味を持てる内容・授業づくりが必要になる。

(4) 今年度の取り組みに至った理由

8時間のダンスの授業で選択者全員が「楽しい」「またダンスをしたい」と思えるような授業にしたいという思いから、授業形態を見直すことにした。「楽しい」とは、ダンス自体が楽しいということと、仲間と一緒に踊ることが楽しいと思うことが考えられる。特に私が意識したのは後者で、「仲間とともに目標を決め、課題を見つけながら合意形成し心の繋がりを目指すと」ということであった。そこで大切なことは、ダンスが苦手な生徒も活躍できる場を作ることだった。

生徒に楽しいと思うことについて聞いてみると、よく返ってきたのは「ゲーム」だった。どんなゲームをしているのかということを知っていくうちに、スマホの使い方が多様であることに驚いた。そして、「動画の作成」をしてみてもうどうだろう、という結論にたどり着いた。自分たちで様々な場所で動画を撮り、編集し、作品を作る。そして、みんなで動画を見て評価をするという流れで授業を進めることに決めた。

※ダンス作成上のルール

- | |
|-----------------|
| ①2分程度 |
| ②音楽または動画は編集すること |
| ③隊形に変化をつけること |

※チーム内の役割分担

- | |
|----------|
| ①リーダー |
| ②振付、隊形担当 |
| ③音楽、映像担当 |
| ④衣装担当 |

※その他、必要に応じて配置するが、全員の協力のもとに進めていくこと

※今年度の授業の流れ

- | |
|-----------------------------|
| 1時間目：アンケート、班分け、
役割分担・曲決め |
| 2時間目：動き作り① |
| 3時間目：動き作り② |
| 4時間目：動き作り③ |
| 5時間目：中間発表（ビデオ撮り） |
| 6時間目：踊りこみ（隊形の工夫） |
| 7時間目：動画撮影、編集作業 |
| 8時間目：映像視聴、評価 |

※振り返り・評価項目

- | |
|-----------------------|
| 1. 全員が動きを覚え意欲的に踊っている |
| 2. 楽しく自信をもって堂々と踊っている |
| 3. 動きや作品に独創性やインパクトがある |
| 4. 隊形や空間の使い方に工夫が感じられる |
| 5. 音楽と踊りが合っている |
| 6. 撮影が工夫され効果的に編集されている |

これらの項目を各グループごとに5段階で評価

3. 今年度のダンスの授業を通して見えたこと

インターネットの普及や特にスマホの所持によりYouTubeで動画を観たり、SNS投稿された動画を見たり投稿することで、ダンスを日常的に見ることも増えている。そういう時代の中で、ダンスに興味を持つ生徒が増えたことは事実である。しかし中には、ダンスは好きではないが武道はしたくないという理由でダンスを選択した生徒も複数いる。そのような生徒たちが「楽しい」「またダンスをしたい」と感じる授業にするためにはどうしたら良いか――

そこで、そもそも運動が得意ではない生徒たちにもできることはないかということを考えた。実際にどのグループも比較的ダンスが得意な生徒がリーダーとなって動きの指導をしていたが、全員が難しいことを完璧にできるはずがなく、状況を見ながらお

互いの中間をとって練習したり、ソロやユニゾンパートを効果的に入れてカバーしていた。編集作業はこの場面においても重要で、ダンスが得意ではなくても音楽や映像作成の段階で力を発揮することでグループの役割を果たすことができていた。

体育の授業において特に運動能力が高くなくても活動に参加しやすいという点では、ダンスの授業が担う役目は大きいのではないかと思う。「する、みる、支える、知る」というスポーツの多様な楽しみ方を実践する資質・能力の育成という点においても今までとは違った授業の展開は正に本校のスタイルにも合っており、教科を超えての授業展開やその過程での学びの力は、本校の教育目標でもある“グローバルリーダーの育成”にも繋がるはずである。

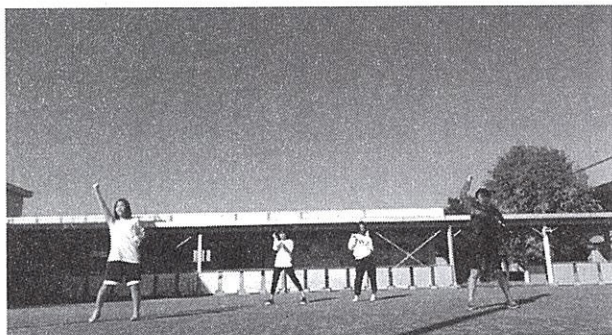


写真4 駐車場で撮影 (1A)



写真5 校舎⇒体育館ステージと移動を加えての撮影 (1B)

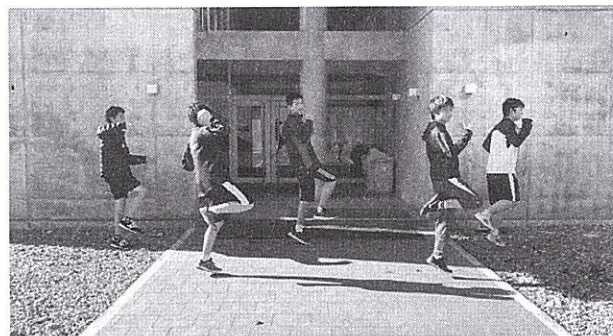


写真6 有朋館にて撮影 (1C)

今年度の授業を終えての振り返り (感想)

- ・とても難しいダンスだったけど、その分、達成感をすごく感じた
- ・グループでたくさん話して協力することができたので満足です
- ・授業時間だけでは足りず、みんなで時間を合わせて練習することも楽しかった
- ・みんなで合わせるのは難しいけど、練習するうちに揃ってきて嬉しかった
- ・動きだけでなく、表情も大切だなと思った
- ・他のグループのダンスもみんな楽しそうで良かった
- ・振付を覚えるのが大変で踊ることに必死だったのでもっと余裕をもって踊ることができればよかった
- ・難しいことをすることより、皆でそろえることが美しく、完成度も高くなるのが他のグループを見て感じた
- ・踊っている人が楽しそうだから見ている自分も楽しかった
- ・楽しく踊ることができたのは良かったけど、もう少し練習すればもっとうまくできたと思う
- ・大きく踊ることが大事だと思った
- ・みんなのダンスを見ていて楽しかった
- ・ダンスがうまい以前に楽しかったことがよかったと思う
- ・元気に笑顔で踊っていればある程度上手に見える

もんだなと思った

- ・自信をもって踊っている人はかっこいいと思った
- ・他のグループのダンスも踊ってみたい
- ・“見せる工夫”も大切だと思った
- ・MVになっている作品もあってきれいだった
- ・編集の時、みんなで撮り合ったり映像を集めたり選んだりすることも楽しかった
- ・撮影や編集技術がすごいと思った
- ・ただ踊るのではなく隊列の見せ方や動画の編集で格段に変わることが分かって驚いた
- ・踊ることがとても楽しくなって、仲間もよくなったのでこれを機に自主的に動画を作ったりしてみたい
- ・ダンスの練習を通して協調性が身に付いたと思う

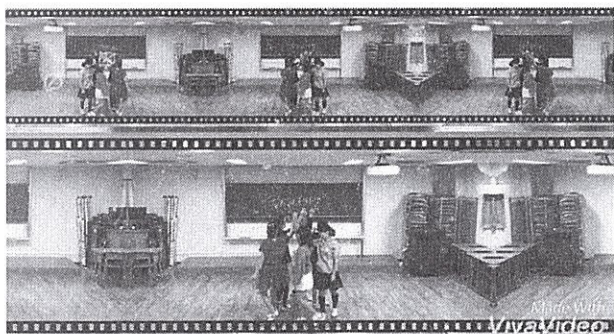


写真7 動画編集アプリを使用しての映像作成

4. 今後の課題

体育の授業が生涯教育に繋がる——私はこのように考える。日々生活環境が変わる現代。時代の流れとともに求められる力も変化していく。その中で、時代に即し、体力や技能の程度、性別や障害の有無等にかかわらず誰もが参加し運動を楽しめる授業に対応していくことは教師として必要なことだと考える。

また、保健体育は受験科目ではない。授業時間以外でできるだけ時間を取らせたくない。毎年発表会の前になると放課後や休日に活動の時間が増えてしまう。これはダンスだけにとどまらず、多くのことに共通して言えることであるが、「限られた時間で

計画的に物事を進めていくこと」ができる判断力と行動力を身に付けていくことが必要だと考える。

そのためには、1時間ごとの進捗状況を毎回確認し、残りの時間と活動内容を認識させること、授業のイメージ、見通しを持たせることが大切である。あくまでも、「教師が生徒にさせる授業」ではなく「生徒が自らするための授業」。自分たちで考え、仲間と情報を共有し、問題点が見つければそれを解決する方法を考え、議論すればよい。お互い納得するまで思いをぶつけ合いより良いものを作り上げればよい。自己主張しつつ、他者との関係を保ち、コミュニケーションを通して意思の疎通を図り、より良いものを作り上げていく活動は、今後の社会で極めて大切な要素である。

また、平成34年からの新学習指導要領の実施に向けて

①主体的な学び

②多様な人々との協働

この二つの要素が保健体育でもキーワードとなる。特に、②多様な人々との協働では、原則として男女共修になることで、生涯スポーツに向けての段階的な参加を促す要素も取り込まれているのではないだろうか。生涯スポーツは年齢や性別などに関係なくその時にいたメンバーでできることを行う。また、それによってルールなどを特別に設けたりするかもしれない。とにかく皆が楽しく体を動かすことが目的なのだから、誰かが声掛けしたり話し合いの中でリーダー的存在が自然と出てくることになるだろう。高校での体育の授業からそういう状況に慣れることによって可能性は広がるはずである。

さらに、スポーツの楽しみ方は世界共通であることから、海外の人とも共通の話題を持ちやすい。日本人で海外チームに所属し活躍する人が増え、スポーツが世界情勢に少なからず影響することすらある。スポーツを通して様々な国と交流を持ち、多様な考えに触れ、誰とでも共生できる柔軟な考えがで

きるグローバルリーダーとしての意識が芽生えることも考えられる。このような経験を通して
広い視野で物事を考えることができる人——すなわちグローバルリーダーの育成を目指して取り組んでいきたい。

<本校の選択ダンスの流れ>

- ・平成27年度本校ダンスの授業
武道（剣道・柔道選択）ダンスから自由に選択
1単位（通年）
3月の石川県高等学校ダンス発表会に全員参加
- ・平成28年度本校ダンスの授業
武道（剣道・柔道選択）ダンスから自由に選択
1単位（通年）
2月に校内発表会を実施
- ・平成29年度本校ダンスの授業
武道（剣道・柔道選択）ダンスから自由に選択
1単位（2学期計8回）
各授業で発表会を実施し映像を撮影し12月に上映
- ・平成30年度本校ダンスの授業
武道（剣道・柔道選択）ダンスから自由に選択
1単位（2学期計8回）
各自で映像を撮り編集し、上映

<参考>

高等学校学習指導要領解説
保健体育編・体育編